

# 要 望 書

【第58回定期総会】

千葉県町村議会議長会

## 1 国営両総農業水利事業の早期完了について

国における土地改良関係予算の削減により、農林水産省で進められている国営両総農業水利事業の完了が遅れる可能性がある。

本事業は、農業用排水の基幹施設を整備するもので、その果たす役割は非常に大きいため、十分な予算が確保され、事業が早期に完了するよう要望する。

## 2 九十九里浜の海岸侵食対策事業について

南九十九里浜に位置する長生地域（白子町、長生村、一宮町）の海岸は、古くから広大な砂浜と松林が続く白砂青松の風光明媚な景勝地としてたくさんの人に親しまれてきたが、この地域の砂浜は昭和40年ごろから徐々に後退を始め、国民の財産である九十九里浜の自然が破壊されている。

また、夏季観光の目玉である海水浴場の喪失や高波による災害が発生するなど、住民の生活に大きな影響を与えている。

このような状況のなか、侵食対策事業が実施され、徐々にその効果が現れてきているが、砂浜の消失は九十九里浜一帯へと広域的な問題に広がっているのが現状である。

よって、高潮や津波等の自然災害の防災の観点からも、海岸侵食対策事業の早期完成、消失した土砂を供給する養浜計画の早期確立、新規着工を強く要望する。

## 3 地上デジタルテレビ放送難視聴地域の解消について

地上デジタル放送へ完全移行する2011年7月24日までの期間が残り僅かとなり、受信可能範囲は普及計画の目標に沿って進んでいるものの、未だ放送事業者側及び視聴者側共に多くの課題が指摘されている。

新たな中継局の整備計画がない中、長生郡の睦沢町、長柄町、長南町においては房総半島中央部に位置し中山間地が多い地形のため、地上デジタル放送を受信できない地域が多く、「新たな難視」と言われる難視世帯が相当数発生している。現在、国で特

定している新たな難視世帯が1,600世帯あり、調査が進むにつれてさらに増加することが予想される。

総務省では、自主共聴組合による共聴施設の整備で対策を講じているが、組合のリーダーシップの取れる存在の有無、設置までの手続き、設置後の維持管理、また既に多額の費用を講じて視聴している世帯の存在など、共同設置は多難で、時間が必要であると予想される。

テレビが視聴できない不便を味わうのは地域住民であり、さらには地域間格差を増大させることにもなる。

今回の地上デジタル放送への完全移行は国策として推進されたもので、国及び放送事業者の責任において、難視区域の全面解消に向け中継局の増設など送信環境の整備対策を速やかに講じるよう強く要望する。

平成22年5月31日

千葉県町村議会議長会